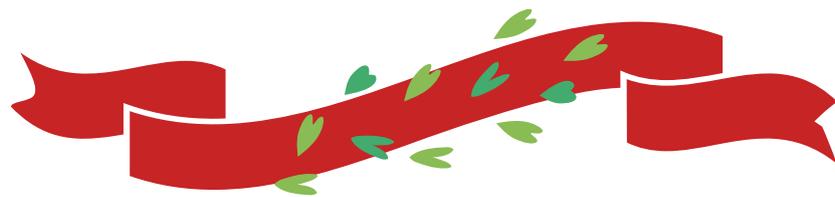


まちの情報お届け講座



まちの「今」をお届けします

全 **53** 講座



小豆島町
SHODOSHIMA



まちの情報お届け講座とは？



町長や職員が町民の皆様が開催する地域での学習会などにお伺いし、町の取り組みや制度、暮らしに役立つ情報をお届けすることで、町について共に考え、理解を深めていただくことを目的としています

町政全般					産業のまち				
	講座名	内容	担当課	現地		講座名	内容	担当課	現地
1	町長が語る まちの今とこれから	町の施策や取り組みについて、町長がお話します（内容につきましてはご相談させていただきます）	企画財政課		8	島の稼ぐ力を育む ～小豆島ブランド 事業～	島の地場産業を担う次世代が、安心して島で営みを続ける未来を描くため、島で稼ぐ力を育む「小豆島ブランド事業」を紹介します	商工観光課	
2	まちを知る ～人口ビジョンと 総合戦略～	町の基本的な方針「総合戦略」に掲げた施策や取り組みとともに、町の人口の現状や将来展望を提示した「人口ビジョン」を説明します	企画財政課		9	学ぼう、鳥獣対策	有害鳥獣対策は、地域ぐるみで共通認識を持って、継続的に取り組むことが大切です。鳥獣対策の基本をわかりやすく説明します	農林水産課	
3	まちの家計簿 ～わかりやすい 財政事情～	「財政」と聞くと「難しそう」と感じていませんか？町の財政を身近に感じてもらうため、予算内容や財政状況をわかりやすく説明します	企画財政課		10	教えて、小豆島で 獲れるおさかな	瀬戸内海に囲まれた小豆島は、四季折々の海の幸が豊富。そんな小豆島で獲れる魚の種類や漁法などについて学びましょう	農林水産課	
4	まちの施設を 見学しよう	町の公共施設等を実際に見学いただき、皆さんの暮らしに関わる事業や取り組みの現場を実際に訪れることで理解を深めます	企画財政課 (各施設 担当課)	○	11	考えよう、まちの農業 ～現状とこれから～	町の農業の現状・課題・振興策についてわかりやすく説明します。町の農地面積の6割を占める耕作放棄地について考えてみませんか	農林水産課	
5	知っておきたい 町税のしくみ	私たちの暮らしの中で、皆さんにご負担いただいている「町民税」や「固定資産税」などの課税の仕組みから納税方法までを説明します	税務課		12	チャレンジ、 棚田での米づくり	「日本の棚田百選」にも選ばれた中山千枚田。生産性の低い「棚田」での米作りに挑戦したい方、棚田の魅力を教えます	農林水産課	○
6	選挙を知って、 みんなで投票	私たちの代表を選び、意見を政治に反映させるための選挙。仕組みや投票の大切さを学んでいただくため、選挙講座や模擬投票等を行います	総務課		13	もっと知ろう、 小豆島オリーブの 魅力	オリーブオイル普及促進のため、オリーブの歴史や栽培・加工などのお話やオリーブオイルのテイastingを行います	オリーブ課	
7	小豆島町議会に 行ってみよう	予算や条例の審議を行うなど、町の話合いの場である議会について紹介します	議会事務局						

産業のまち



歴史ある地場産業の魅力を高め、次の世代につなげていくため、「小豆島ブランド」の確立に向けた取り組みを進めています。またオリーブトップワンプロジェクトの実践をはじめ、水産業の活性化に向けた漁協などとの連携、農業の持続的な発展などに努めています。



「人が集い、元気なまち」を目指して



健康・福祉のまち					健康・福祉のまち				
	講座名	内容	担当課	現地		講座名	内容	担当課	現地
14	介護保険施設って どんなところだろう	介護保険施設の事業内容(「介護 老人保健施設」「特別養護老人ホ ム」「訪問介護」「相談・ケアプラン作 成」)や自宅介護のコツを紹介します	介護保険施設		20	知っていますか、 障害者差別解消法	人格と個性を尊重し、共生する社会 の実現に向け、障害を理由とする差 別解消のため制定された「障害者差 別解消法」について説明します	健康づくり 福祉課	
15	みんなの力で支えあう 福祉のまちづくり	地域住民主体の団体が行う高齢者 や障害者支援に対し補助金を交付 する「福祉のまちづくり支援事業」。 制度概要や取り組みを説明します	健康づくり 福祉課		21	いきいき百歳体操 ～みんなで延ばそう 健康寿命～	いくつになってからでも体力をつけるこ とができる「いきいき百歳体操」。実 際と一緒に行ってみましょう	高齢者 福祉課	
16	もっと知ろうよ、 国民健康保険制度	医療費は、皆さんが納める保険税等 で賄われています。国民健康保険の 仕組みや医療費、健康づくりについて 学んでみませんか	健康づくり 福祉課		22	認知症サポーター 養成講座& こまめ隊養成塾	認知症の知識と対応を中心に高齢 者への理解や接し方を学んでいただ き、地域で支え愛活動に取り組んで いただくこまめ隊を養成します	高齢者 福祉課	
17	生活習慣病を 予防する 働く世代のための 食事	生活習慣病予防のための食生活に ついて学びます。糖尿病や高血圧な どにしばってお話することもできます	健康づくり 福祉課		23	地域包括 ケアシステム を知っていますか	「住み慣れた地域で、その人らしい暮 らし」を地域が一体となって支える体 制「地域包括ケアシステム」について 説明します	高齢者 福祉課	
18	低栄養を予防する 高齢者のための 食事	体の機能を維持するために必要な栄 養素は年を重ねてもそれほど変わりま せん。シニア世代の食事について学び ます	健康づくり 福祉課		24	人生100年時代 の 年金制度	公的年金の意義や保険料の納付、 年金受給の留意点、代表的な手続 きなど、年金制度の概略を説明しま す	住民生活課	
19	働き盛りの今、 受けようがん検診	2人に1人が生涯に一度はかかると いわれているがんについて学び、若い うちから定期受診する習慣を身につ けましょう	健康づくり 福祉課						

健康・福祉のまち



小豆島中央病院を核とし、充実した医療の提供や医療基盤の強化に努めています。また、絆をはぐくみお互いに支え合う地域づくり、若者が結婚し、安心して子どもを産み、育てやすい環境づくり、高齢者や障害のある人などが安心して暮らし続けられるまちづくりなど、地域福祉の充実を進めています。





定住・交流のまち					定住・交流のまち				
	講座名	内容	担当課	現地		講座名	内容	担当課	現地
25	自らの命は自らで守る ～今すぐできる 防災対策～	災害はいつ起きてもおかしくありません。自らの命を守るため、日頃からの備えや町の防災に関する取り組みなどを説明します	総務課		33	しあわせづくりの ための人権講座	誰もがお互いに認め支えあい、自分らしく生きられるーそんな幸せで温かな「まちづくり」のための町の取り組みについて説明します	住民生活課	
26	交通事故のない 安心安全なまちづくり	いつ当事者になるかわからない交通事故。町の交通安全対策とみなさんが活用できる制度等について紹介します	総務課 建設課		34	男女共同参画社会 を目指して	男性・女性などの固定的観念や役割意識にとらわれず、仕事や家事・育児・介護などの両立を行うための町の取り組みについて説明します	住民生活課	
27	公共交通を 利用しよう	バスの乗降や料金の支払い方法、ICカードの使い方を学ぶとともに、高齢者等運転免許自主返納支援事業などの利用促進施策を紹介します	企画財政課		35	石の歴史と魅力 ～日本遺産認定～	日本遺産に認定された「知ってる!? 悠久の時間が流れる石の島」。その歴史や構成文化財について魅力とともに紹介します	商工観光課	○
28	アートによる魅力創造 ～瀬戸内国際芸術祭～	「海の復権」をテーマに2010年から始まった瀬戸内国際芸術祭。その作品や取り組みについて紹介します	企画財政課		36	選ばれ続ける持続 可能な観光地へ ～私達にできること～	町は2021年版「世界の持続可能な観光地TOP100選」に選ばれました。「持続可能な観光地」となるために私たちにできることを考えましょう	商工観光課	○
29	「新しい生活様式」 を心がけて 公園を使おう	コロナ禍の中、運動や屋外でのリフレッシュなど、心身の健康を保つことも大切です。マナーと思いやりを大切にされた公園利用を紹介します	建設課		37	地域おこし協力隊 に聞いてみよう	町では、国際交流やICT教育、観光や農・漁業など様々な分野で地域おこし協力隊が活動しており、それぞれの活動について説明します	企画財政課	
30	私たちが利用している 生活道路	道は、県が管理する国道・県道、町が管理する町道、加えて里道・農道があります。里道・農道における原材料支給制度について説明します	建設課		38	知っているようで 知らない おうちの補助制度	耐震診断・リフォーム・太陽光発電・合併浄化槽・ブロック塀など、知っているようで知らないおうちに関する補助制度について紹介します	住まい 政策課	
31	環境に優しい、 ごみの分け方・出し方	小豆島のごみや処理施設の現状とともに、ごみ分別のルールについて具体的な事例を紹介しながら説明します	住民生活課		39	突然ですが・・・ あなたの使っていない おうちは大丈夫ですか	深刻な社会課題として注目されている空き家の問題。より良い住環境実現のために、空き家の「活用」を支援する補助制度を紹介します	住まい 政策課	
32	ぼくもわたしも 「食品ロス」減らし隊	食品ロスの半分は家庭から出されています。日常生活でできる食品ロスへの具体的な取り組みを紹介します	住民生活課		40	移住される方が 多いのはなぜ	近年、毎年約100名の方が町に移住されています。町ではどのような取り組みを行っているのか、移住定住促進施策について説明します	住まい 政策課	

定住・交流のまち



地域防災力の向上や、防災士などの人材確保を通じて、町民の皆さんの防災意識の高揚を図っています。また、定住人口だけに留まらず、観光などによる交流人口や、地域や人と多様に関わる関係人口の拡大に努めています。さらに誰もが利用しやすい施設・設備の整備など、生活環境の利便性・快適性の向上に努めています。



まちを学び、まちを知る

全 53 講座

(メニューは変更する場合があります)



教育・文化のまち					教育・文化のまち				
	講座名	内容	担当課	現地		講座名	内容	担当課	現地
41	まちの歴史・文化・自然を知ろう ～地域の宝物～	町内にある様々な文化財等、地域の宝物を紹介し、一緒に郷土の歴史や地域の魅力について考えます	生涯学習課	○	48	小中学校「1人1台PC」で学校はどう変わる	GIGAスクール構想により整備した1人1台のタブレットパソコンを活用した小中学校のICT教育についての紹介や授業体験を行います	こども教育課	
42	図書館は宝物館	本との出会いの場であり、町の歴史や文化等の情報のつまった図書館をフル活用する方法を紹介します	生涯学習課		49	教職員の働き方改革～町の取り組みと効果～	近年、問題となっている教職員の長時間労働を改善するための働き方改革について、町での取り組みとその効果について紹介します	こども教育課	
43	「婦人の家講座」に参加しよう	「働く婦人の家」で実施している講座について紹介します	生涯学習課		50	わかりやすい特別支援教育	特別な支援を必要とする児童・生徒の健やかな成長を応援するため、町で行っている幼・保、小中学校の取り組みを紹介します	こども教育課	
44	ニュースポーツを体験してみよう	「誰でも、どこでも、いつでも、簡単に」楽しめるため、考案されたニュースポーツ。体験してみませんか	生涯学習課	○	51	子育て支援の仕組み	小豆島の未来を担う子どもたちの成長を応援するため、保育所、幼稚園、一時預かりなど町が行っている様々な子育て支援を紹介します	こども教育課	
45	水辺の安全管理講座～大切な命を守り、楽しく遊ぼう～	水難事故を防ぎ、安全に楽しく、海や川で遊べるように紙芝居や動画、ライフジャケット等を使用して水辺の安全管理を学びます	生涯学習課		52	まちの少子化対策	独身男女の結婚促進を目的とした「出会いの輪創出事業」や経済的な負担軽減を図る「不妊症・不育症治療費助成事業」などを紹介します	こども教育課	
46	マリンスポーツを体験してみよう	カヌー、ローボートの体験講座です(7月～9月下旬頃)。小豆島ならではのマリンスポーツで海をもっと身近に感じてみませんか	生涯学習課	○	53	子育てを応援します	町では、個人・団体が行う先進的でユニークな子育て応援活動の費用に対し、補助をしています。補助制度と補助事例を紹介します	こども教育課	
47	コミュニティ・スクール～地域とともにある学校づくり～	町でも始まった、地域の声を生かし、特色ある学校づくりを進める「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」を紹介します	こども教育課						

教育・文化のまち

子どもの成長段階やそれぞれの個性に応じたきめ細やかな施策を進め、さらなる子育ての充実に努めています。
また、安全で質の高い学校施設の整備や進学への支援、地域の愛着や誇り、生きる力を育む学校教育を推進しています。誰もが生涯を通じて学び、健康づくりができる環境の整備、アート・文化活動の支援を図っています。



まちの情報お届け講座 | ご利用案内 |

ご利用できる方

小豆島町内に居住している 5 名以上の団体やグループ（通勤、通学を含みます）

開催日時

原則、年末年始を除く平日の午前 9 時から午後 5 時までの間でおおむね 60 分以内

費用

無料です。ただし、会場使用料や講座によって必要となる材料費などは申込団体の負担となります

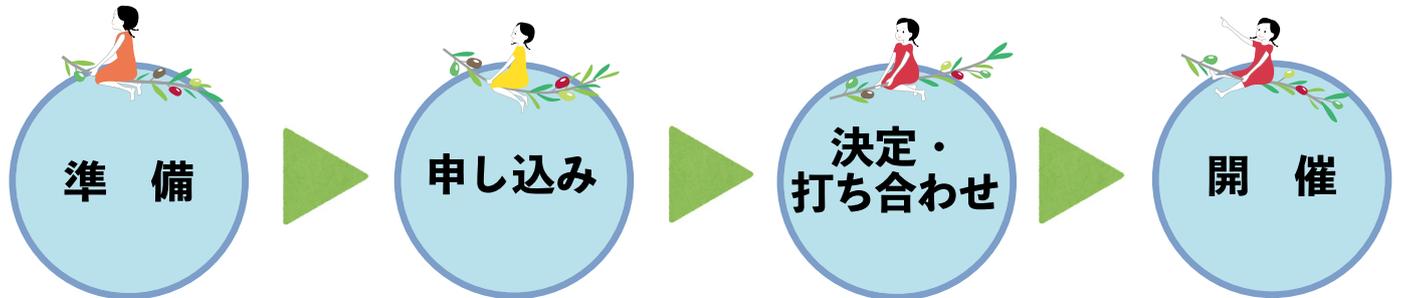
開催場所

町内に限ります。この講座は、町民の皆さんのもとへ職員を派遣するものですので、会場の手配、準備ならびに進行などは、申込団体でお願いします

ご注意

- * 政治、宗教または営利を目的とした催しなどには、ご利用になれません
- * この講座は学習の場であり、要望、苦情、陳情等を目的とする場ではないことをご理解ください

開催までの流れ



メニュー表から
学びたいテーマ
を選び、開催希
望日時の設定や
会場の手配をし
てください

開催希望日の
3 週間前までに
企画財政課へ
「申込書」を提
出してください

企画財政課から
開催決定の連絡
があったら、事
前に担当課と打
ち合わせをして
ください

担当者が会場に
出向きます。終
了後は「アンケ
ー」を企画財政
課へ提出してく
ださい



小豆島町ホームページ
「まちの情報お届け講座」

お問い合わせ・お申し込みは、

小豆島町企画財政課

電話 *(0879)82-7000 FAX *(0879)82-7023
E-MAIL *olive-kikaku@town.shodoshima.lg.jp

